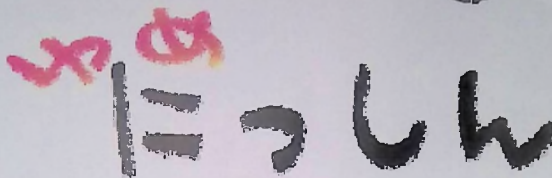




「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

荷日新 荷に日に新たに  
日日新 日々に新たに  
又日新 又日に新たなり  
出典 「大学」



発行：地域の誇り・まちづくり日新広報部会  
文京5-1-8 日新公民館  
発行日：2013(平成25)年12月20日

### 地域の誇り・まちづくり事業

#### ◆ 奈良市への合同館外研修 ◆

阪井一彦 (まちづくり日新 事務局長)

今年度の「まちづくり日新」の館外研修として、11月17日(日)、“佐保川の清掃美化と菩提川の水質改善活動”に地域ぐるみで取り組み、立派な成果をあげておられる奈良市の大安寺西地区を訪れました。

菩提川の活動は、2011年にNHKの番組「欣ちゃんと一緒に、ワースト脱出作戦」で、“日本一汚い川が台所対策で激変”というタイトルで放映され、注目を集めた活動です。

この研修では、まず、子供からお年寄りまで、地域が一丸となり取り組む事の重要性、そうすれば行政を巻き込むこともできることを再認識させられました。また、地域が一丸となるには、役員の皆様の大きなご苦勞があったものと推察される視察研修会でした。

研修先が奈良で遠く、出発が朝6時半と早くなりましたが、キャンセル待ちとなる程のたくさんの方(46名)が参加して下さり、ありがとうございます。

当日の天気予報は「福井は午後から雨」で心配しましたが、奈良は終日晴れで非常に暖かく、午後は、ならまち散策と東大寺にお参りし、晩秋の奈良を満喫する研修旅行が出来ました。



#### 交通部会

##### —「さんさんバス」に乗って友だちをつくらう!!—

毎日お元気でお暮らしてでしょうか。

わが「さんさんバス」も試行運行開始から1年が経過したところですが、乗車数の多かった事例を見ると、グループ単位の昼食会やレジャー企画参加の利用が大きな要素となっています。



もちろん、病院への通院、買物、小学生の実習活動、児童館の行事活用など、多くの人たちが利用されておりますが、残念ながら当初の計画数値までには到っておらず、26年3月(第1次査定)、9月(最終査定)までを予測すると、極めて厳しい結果になるものと思われれます。今後の対応につきましても、今まで以上に住民の皆さんの御協力をよろしく願います。

市役所との協議(11月22日)において、26年度の運行に関する新企画・提案として、利便性・効率性を考慮し、①土曜日の運行実施(住民の要望あり)、②田原町方面(図書館、美術館その他)路線の設定、③公民館活用がしやすいダイヤ組立変更の推進(公民館行事にはできるだけバス利用)、をお願い致しました。現状では極めて厳しい状況ではありますが、実現に向けて検討していただける内容に到りました。

- ☆そこで“お願い”
- ④冬場は自転車は危ない・・・積極的バス活用。
- ⑤月次1回ぐらいは活用よろしく。
- ⑥友達輪づくり、グループづくり、レジャー活用に。
- ⑦公民館行事にはできるだけ活用を。
- ⑧各団体・組織の役員さん、積極的啓発推進。

寒さ厳しくなります。体に気をつけて頑張りましょう。よろしく御協力お願いします。(山口 満)

#### 文化部会

##### —秋の七草鑑賞とお月見だんごづくり—

9月7日(土)、「秋の七草鑑賞とお月見だんごづくり」を開催しました。参加者は子供18人、大人8名でした。子供はひまわり児童館からたくさん参加して頂き、感謝しております。

今年は七草集めを前日に行い、撫子(なでしこ)を除く他の6種を集めることができました。それで撫子だけは写真にての紹介となり、恐縮しています。

行事として、だんごづくりと紙芝居をしました。だんごづくりでお湯を使うところがあり、子供にはちょっと危険ということで、だんごをゆでる間、和室で折り紙づくりを行い、子どもたちは折り紙で飛行機など作って楽しそうでした。

いよいよ、だんごができあがり、食べながら紙芝居を一話行いました。語り手の表現がとてもよくて、みんな静かに紙芝居に見入っていました。



終了後、アンケート用紙を集めたところ14枚で、10人は、だんごづくりをもっとしたかったようでした。(山崎 豊)

#### 環境部会

##### —「底喰川の生きもの観察会」を実施—

環境部会では、昨年に引続き9月29日(日)、「底喰川の生きもの観察会」を実施しました。参加者は29名(うち子供11名、保護者6名、講師スタッフ等12名)でした。2回目とあって皆さん落ち着いて行動してくれました。

今年は、「藻」が多くて足が取られるなどして悪戦苦闘。それでも川の中は、楽しく歓声が絶えませんでした。このことが体験を伴ったイベントの有意義性(子供の感性も育つのではないかと、また保護者も、このときばかりはすべてを忘れられる一時ではないか)と思います。

気のはやる参加者を前に講師から注意点の説明があり、真剣に耳を傾けたあと早速生きもの採集。生きもの分類も丁寧に解説をいただき、みんな満足。その後水質調査も行いました。この結果は昨年と同じでした。

体験学習の必要性を確認できた一日でした。参加者には下敷き、記録写真をパウチしたもの及びスナップ写真を配付。貴重な体験として、思い出の1ページに加えておいてほしいと願っています。(前川栄寛)



# 日新春秋

福井市防犯隊日新支隊が発足

福井市防犯隊設置条例に基づき、市内の公民館単位で市民による防犯隊が設置されることになっていきます。

これまで、日新、旭、春山の三地区には防犯隊が設置されていませんでしたが、福井市危機管理室の指導のもと、今年五月二十三日、支隊長、副支隊長、隊員二名で、そのうち一名は福井市で初めての女性隊員を含めまして、福井市防犯隊日新支隊を発足いたしました。

防犯隊は、地域における犯罪、事故等を未然に防止するために各種防犯活動を行います。

日新支隊といたしましては、将来に向けた支隊の基盤作りを目標に掲げ、主として青色回転灯を使用した車両パトロール、地域イベント時の雑踏事故や災害時における各種事故・犯罪の防止活動、ならびに支隊発足の広報、練成大会参加等の活動をいたします。



防犯パトロール車  
(青色回転灯を、警察の講習、許可を受け、とりつけています。  
車種:トヨタ ウィッシュ 車体色:銀色)

地域の皆様の日新支隊へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

福井市防犯隊  
日新支隊長 和田登喜男



## チャレンジ！ バウンドテニス

—全国大会優勝の宮前さん（日光1丁目）に聞く—

今年7月に東京で開催された全日本バウンドテニス選手権、フリー女子シングルの部において初優勝された宮前和代さん（日新バウンドテニスクラブ代表）に、10月1日（火）、日新小学校体育館でお話をうかがいました。

Q バウンドテニスというのはどんな競技ですか？

A 若い人から高齢者まで自分のレベルに合わせて楽しめるスポーツで、普通のテニスの約6分の1の広さのコートでプレーします。ラケット、ボールは専用のものを使用します。

Q 競技人口はどのくらいですか？

A 福井市では約300名の方が楽しんでおられます。学校区ごとにクラブがあるのですが、無い地区もあります。

日新地区では休眠中再開したクラブを3年前に再開しました。現在、部員が6名と少ないので仲間を募集しています。

Q 練習はいつするのですか？

A 毎週火曜日の夜7時から9時まで日新小体育館で練習しています。

Q 一度参加してみようという場合、何が必要ですか？

A ある程度慣れるまではラケットはお貸ししますので、ズックのみ用意して練習日に来ていただければ結構です。お待ちしております。



宮前さんのプレー



練習風景

## 「日新かるた」紹介(3)

もちつきは

セイロ吹き上がり

小突きから



少し前までは、「うす」と「きね」を使って家族全員での手作りでした。もち米は「セイロ」で蒸し、蒸しがりを「うす」に移し、はじめは米粒が飛ばないように大まかにつぶします。これが小突きです。もちつきはこの小突きが大切なのです。(日新かるた解説書参考)

## 交通指導員募集！

住民の安全・安心のために力をお貸しください！

- ★ 任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日
- ★ 70歳未満の方

<問い合わせ先>

日新交通安全推進協議会会長 山口 満 (文京5丁目) ☎25-5325  
興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。(女性大いに歓迎)

## わがまち 東上里自治会

自治会長 野路利郎



我が自治会は、東はえちぜん鉄道三国芦原線、南は上里第一自治会、西は上里第四自治会、北は八ツ島第一と八ツ島第二自治会に囲まれた、69世帯5班6区分で構成されています。

昭和41年の西部第二区画整理事業に基づき、昭和46年、上里地籍北東部の宅地造成があり、私が福井市内より現在地に居住した頃は上里町内会に属していましたが、昭和48年、戸数約30で東上里町内会として西藤島町内連合会に加盟しました。

その後、八ツ島地籍の町家も加入し、昭和50年、八ツ島集会所建設に加わり、八ツ島白山神社の氏子となり、日新地区誕生の際、文里地区との戸数バランスもあり、宮島ブロックの自治会となりました。

私が居住してから、公園、幼稚園、小学校も近くにできて子育てに良い環境となり、電車の日華化学駅ができてコミュニティーバスの路線も通り、若い人にも高齢者にも住み良い所だと思っています。

以前は、我が子も含めて、又、銀行の社宅の子供も一緒に、いつも子供たちの遊ぶ声が聞こえ、夏休みの朝のラジオ体操は、町内の空き地で15、6人位でやっていたように思いますが、現在は、子供会会員7名と少数で、他の地区と合同で、町外へ出かけているようで、淋しい限りです。

私が入居した頃と比べて高齢世帯が多くなったようですが、今年は新生児3人の誕生もあり、若い人の力を借りて、宮島ブロック、日新地区の一員として、昔のように子供たちが元気で遊べる町になったらと思っています。



我が町内の子供会会員  
(今年の秋祭りにて。東八ツ島地区のメンバーと一緒に。2013/10/13撮影)

## わがまち老舗

蔵元「越の磯」さん  
(大宮5丁目)

- ▶歴史 1909年(明治42年)越廼村茶崎(現福井市越廼地区)で磯見(いそみ)彌三右衛門さんが創業。  
1959年(昭和34年)現在地に移転。  
1998年(平成10年)地ビール「福井浪漫麦酒」を発売。  
2006年(平成18年)福井市と合併して消滅した「越廼村」に因み、福井県産の酒米「越の雫」を使った「越廼磯」を発売。  
2011年(平成23年)福井特産の六条大麦を使った「福井麦酒六条大麦」を発売。

▶店名の由来 代表銘酒の名称「越の磯」を店名としている。「越」は越の国・越前の「越」、「磯」は磯見の「いそ」に由来する。

▶メッセージ 代々伝えられた「一にも二にも原料米を吟味すべし」を信条に酒造りを行っています。日本酒、地ビールの醸造・販売を通じて『福井』を発信し続けていきたいと思っています。

▶連絡先 ☎0776-22-7711

